

スパイゲイト：サイコパスの支配は終わった（下）

いかにアメリカは、サイコパス政治体制になり下がったか

純粹悪化：いかに米共和国が、犯罪的に異常なサイコパスの政治派閥に乗っ取られたか

<http://stateofthenation2012.com/?p=67314>

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/170307.pdf>

【訳者注】造語の ponerization を、私はかつて「純粹悪化」と訳したが、これはどう訳そうと「悪魔」の存在なしには起こらない現象と思われる。また、正負いずれであろうと、純粹なるものには、人間を越えたものの意図がなければならない。時間の経過とともに、戦うべき我々の相手がどういう者であるかが、いよいよはっきりしてくる——分析的にも、戦略的にも。ただ、新聞テレビしか見ていない人々にとっては、ますます“混迷を極める”ようになったはずである。いつも繰り返すこのことが、この SOTN の記事の主題だ。

（上）で言われていた「ストックホルム症候群」つまり、悪の泥沼に埋もれていれば、誰でも悪に順応しなければならなくなるという宿命は、最もトランプについて当てはまる。トランプの言動が単に支離滅裂であるのか、ないのかの答えは、やがてわかってくるだろう。

「スパイゲイト」というのは、トランプ排斥を中心に起こっている泥沼「深層国家」の犯罪や策謀のことである。

今、歴史を決定したいいくつかの事件の詳細な内訳や、アメリカのサイコパス政治体制が、どのようにして、全く狙い通りの場所にうまく収まったかを説明する、正確なタイムラインをさえ、我々は明らかにすることができるようになった。

この批判的な歴史による過去の理解を通じてのみ、サイコパスのいないアメリカの未来が可能になる。次のように：——

合衆国サイコパス政治体制の縮約された歴史

<http://themillenniumreport.com/2015/12/an-abridged-history-of-the-united-states-psychohocracy/>

How The USA Became A Psychocracy



スパイゲイト

この狂った者たちがキチガイ病院を経営するやり方としては、**スパイゲイト**以上によい例はない。ここににかかわるのは、アメリカ・サイコパス政治体制内部の、最もキチガイじみたサイコパスで、彼らは、米大統領選挙を、まず、ヒラリー・クリントンに有利に細工をし、次に、トランプ政権に対してソフト・クーデタを実行するためには、ほとんど、どんなことでもやろうとした、恥さらしたちである。

この全く同じサイコパスたちが、いまだに、トランプ大統領に対して暴力的なクーデタを起こそうと、暗躍している——もっとも彼らは、扇動的な実行プランに対しては、かなり用心深くなっている。こういうことは、これまで、少なくとも白日の下で行われたことはない。たしかにスメドレー・バトラー将軍が、1933年にクーデタ計画を暴露したことがあるが、これは即刻、中止された。

実は、アメリカ情報部共同体やその他多くの部局の、ならず者分子たちが、これで3回、ト

ランプを倒す試みをしている。退職した情報局員や他の CIA 職員が、特に、ホワイトハウス西ウィングで反乱を起こすように働いている。ジョン・ブレナン、ジェイムズ・クラッパー、マイケル・ヘイデン、それにマイケル・モレルのような反逆者どもが、ワシントンの政権交代を、何のお咎めも受けず、推進していると思われる。「元 CIA 局長がトランプに対する反乱を扇動する」を見よ。 <http://stateofthenation2012.com/?p=100428>

もちろん、この反トランプの一事が、**スパイゲイト**の狙っていたすべてである。FBI、DOJ、それに CIA のリーダーたちが、2016 選挙を工作することを謀議し、主流メディアを利用して、大統領候補トランプへの移行を妨害しようとした。そして現在、彼らは、特別検察官ロバート・ミュラーによってひねり出された虚偽の罪状によって、彼を弾劾へもっていこうとしている。司法省の総括検察官マイケル・ホロヴィッツですら、この裏切り者陰謀団の現行の計略を、教唆しようとしている。

最終の総括検察官報告が、実は、深層国家の要員、マイケル・ホロヴィッツによる完全で全面的な粉飾であったという事実は、このむさ苦しい政治的物語が、権力エリートにとって、いかに危険なものであるかを示している。体制側は、**スパイゲイト**が、安全保障国家の下腹全体を暴露する潜在可能性を、もっていることを知っている。これが更には、アメリカ人民に対し、情報部共同体を構成する 17 の部局は、エリートを保護するために存在するだけであって、アメリカ市民を保護するものではないことを、暴露するであろう。 <http://stateofthenation2012.com/?p=100101>

(ソース「**スパイゲイトは核爆発を起こす**」

<http://stateofthenation2012.com/?p=100267>)

そして**スパイゲイト**は、いかに、ジャングルの裸のルールが、アメリカの法治原則に取って代わったことを示す、最新の例であるにすぎない。FBI、DOJ、それに CIA のすべてが、巨大な規模の犯罪的陰謀に巻き込まれ、続いて、巨大な一枚岩的な隠ぺいに加担するとしたら、その組織全体が崩壊していることは、わかりきっている。これは、政府と社会のリーダーシップが、これほど徹底的に純粹悪化すれば、必然的に起こることである。そしてこれこそ人類が、現在、「**サイコパスの黄昏**」 <http://themillenniumreport.com/2018/06/twilight-of-the-psychopaths/> を経験しつつある理由である。

キーポイント：主流メディア・ニュースでさえ、「**ワシントン DC：アメリカのサイコパス首都**」 <http://themillenniumreport.com/2018/06/washington-d-c-the-psychopath-capital-of-america/> というようなタイトルの論文を載せるような時期に、“我々人民”が同じ泥沼につかって、何が目的だったかを忘れるようではいけない。彼らが、その溜り場を**泥沼**と呼ぶのは偶然ではない。ワシントン DC はもともと、沼地だったものを

干拓したものである。

結論：

特に、目的を忘れている人々は、次のような賢者の忠告を思い出していただきたい。

サイコパスを相手にする方法は、一つしかない、
彼らを相手にしないことだ。

もしどうしても必要なら、彼らは完全に潰されねばならない、
彼らが再び、その醜い頭をもたげないように。

この厳しい現実を考えるなら、アメリカ人民が一步前進するには、一つの方法しかないことは明らかなはずである。同様に、アメリカ共和国を取り戻すにも、一つの方法しかない。

(我々人民の) 政府は、この存在する実存的命令のまわりに、集まってできるしかない。

これが起こるためには、十分な数の愛国者が、それをあからさまに盗んだ者たちから、国家を取り返す決議をしなければならない。

2018年に、いかにそれは形を取るだろうか？

深層国家はその全体の内容を暴かれ、この国の国事から、遠ざけられねばならない。

これは、決定的な数量のアメリカ市民が、彼らのたいまつを灯し、ピッチフォークを手にとって動き出すことなしには、なしえない。サイコパスたちは、戦うことなしに退くことは、全くないだろう。

2018年において人々は忘れてはならない——たいまつが、道を照らすのに使われたように、真理はインターネット上に拡散される。同様に、昔のピッチフォークは、フェイスブックのページ、ツイッター・アカウント、またユーチューブ・ビデオなどに、姿を変えている。

彼らを倒そうではないか——我々がやられる前に！

